

事業評価書

補助事業名	岩手山中演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:大更コミュニティセンター等管理運営事業)						
補助事業者名	八幡平市長 佐々木 孝弘						
実施場所	岩手県八幡平市西根・松尾地区						
補助事業の 成果の目標	岩手県八幡平市では、市民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の実施及び市民の主体的な地域活動の拠点として、八幡平市立コミュニティセンターを運営している。現在市内では12か所のコミュニティセンターを運営しているが、画一的な事業ではなく各地域の実情に即した事業を実施するため指定管理にて施設を運営している。 コミュニティセンターでは市民、自治会、スポーツ少年団等に会議室や体育館を貸し出すほか、市民向けのイベントを運営するなど多くの市民、団体が利用する、地域の振興において欠かせない存在であり、今後も施設を継続して運営していくことで、市民の教育、スポーツ及び文化の振興を図っていくものである。						
補助事業の内容	コミュニティセンターの管理運営及び市民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の実施						
補助事業の 始期及び終期	令和6年9月1日から令和7年2月28日						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 37,592,000	円	円	円	円	円 37,592,000
	交付金額	33,000,000					33,000,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	【成果及び評価】 利用者に対しアンケート調査では、5施設の合計で職員の態度は「よい」が19%、「おおむねよい」が34%、「普通」が41%。説明について「よい」が16%、「おおむねよい」が30%、「普通」が49%と5段階の評価では良好と捉えられる傾向にあった。 施設の様子についても、清潔さは「よい」が17%、「おおむねよい」が37%、「普通」が44%。案内表示については「よい」が16%、「おおむねよい」が33%、「普通」が46%であり、対応に関する結果と同様に良好と捉えられる傾向にあった。 一方、情報入手については、「よい」が4%、「おおむねよい」が17%、「普通」が58%と5段階の中間を中心に良い評価と悪い評価にそれぞれ分かれた形となった。 要因としては、定期的に施設を利用の予約をする市民にとっては、施設の利用状況を市のホームページ等を通して確認できるが、施設予約に慣れていない市民等にとっては情報の確認方法が分からず評価が分かれたものと推測される。 しかしながら、職員の対応等については、良好な評価であり、引き続き、市民等の満足度向上に努めていきたい。 利用状況についても令和5年度の5施設合計の利用状況は77,069人であったのに対し、令和6年度は84,465人であり、適切に施設の維持管理が行われている。 併せて、各コミュニティセンターからの収支調書その他の報告書により適切に維持管理に関する支出が行われていることを確認した。 【地域住民への周知の実施状況】 ホームページ及び施設に特定防衛施設周辺整備調整交付金の活用について掲載し、市民へ広報活動を行った。 市広報については、広報はちまんたい11月号において「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の活用について掲載し、周知した。						
事業の改善策及び 今後の対応	引き続き、コミュニティセンターの管理運営及び市民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の促進に向けた取り組みを実施する。						
事業評価に際しての 第三者機関の活用の有無	無						